

第4章 施策展開

1. 施策体系

基本目標	施策方針	基本施策
基本目標 1 交通の要衝地の強みを活かし、地域全体の活性化に資する広域交通の強化	● 防災・物流・医療ネットワークに資する広域道路網の充実	○ 北部・北西部地域における道路等の整備 ○ 西南部・東南部地域における道路等の整備 ○ 高規格道路の利便性向上
	● 軌道系交通網の機能強化	○ 鉄道輸送力の強化 ○ 鉄道駅の利便性向上
	● リニア中央新幹線の整備を見据えた取り組み	○ リニア中央新幹線の整備効果を活かす取り組み強化
基本目標 2 暮らしやすいまちの実現に向けた、地域間交通ネットワークの形成	● 地域間公共交通の充実	○ 新交通システムの導入推進
	● だれもが不便なく移動できるバス路線網の形成	○ わかりやすく利便性の高い公共交通ネットワークの構築 ○ 路線バスのサービス強化による利便性の向上 ○ 多様な交通手段による移動の確保
	● 福祉交通の充実	○ 福祉交通の充実
	● 渋滞解消や円滑な交通流動性の確保に向けた道路等の整備	○ 市域の交通ネットワークを強化する道路の整備推進 ○ 渋滞解消個所やボトルネックの解消
	● 自転車ネットワークの形成	○ 自転車走行空間の整備推進 ○ 市街地における適正な自転車利用の促進 ○ 自転車の安全教育の推進
	● 使いやすい移動情報の充実	○ 誰もがアクセスできる情報環境の整備
基本目標 3 拠点の活力と魅力を高める、快適で利便性の高い交通結節点の充実	● 中心市街地の歩きやすさとにぎわいの創出	○ JR 八王子駅周辺の歩きやすい交通環境の創出 ○ 旭町・明神町地区周辺まちづくりと運動した交通環境の整備 ○ JR 八王子駅周辺の円滑な交通環境の創出 ○ にぎわいの創出に向けたソフト事業の推進
	● 拠点等のターミナル機能の充実	○ 高尾地区における交通結節機能向上
基本目標 4 災害に強く、安全に暮らせる交通環境の創出	● 災害に強いまちを支える交通環境の充実	○ 震災時にも機能する道路網等の形成 ○ 災害時の滞留者対策の推進
	● 生活道路の安全性・利便性の向上	○ 生活道路の整備・維持管理 ○ 通学路を中心とした生活圏の道路の安全対策
	● 交通のユニバーサルデザイン化の推進	○ ユニバーサルデザイン化に向けた鉄道事業者等との連携 ○ 道路におけるユニバーサルデザイン施策の推進 ○ 誰でも安心して外出できる環境の整備
	● 更新時期を迎える道路・橋梁の効率的な維持管理	○ 「橋守計画」等に基づく適正な維持管理計画の推進
	● 交通安全対策の推進	○ 交通安全計画の推進

取り組み方針
 多様な主体の「協創」による交通まちづくりの推進

2. 施策展開

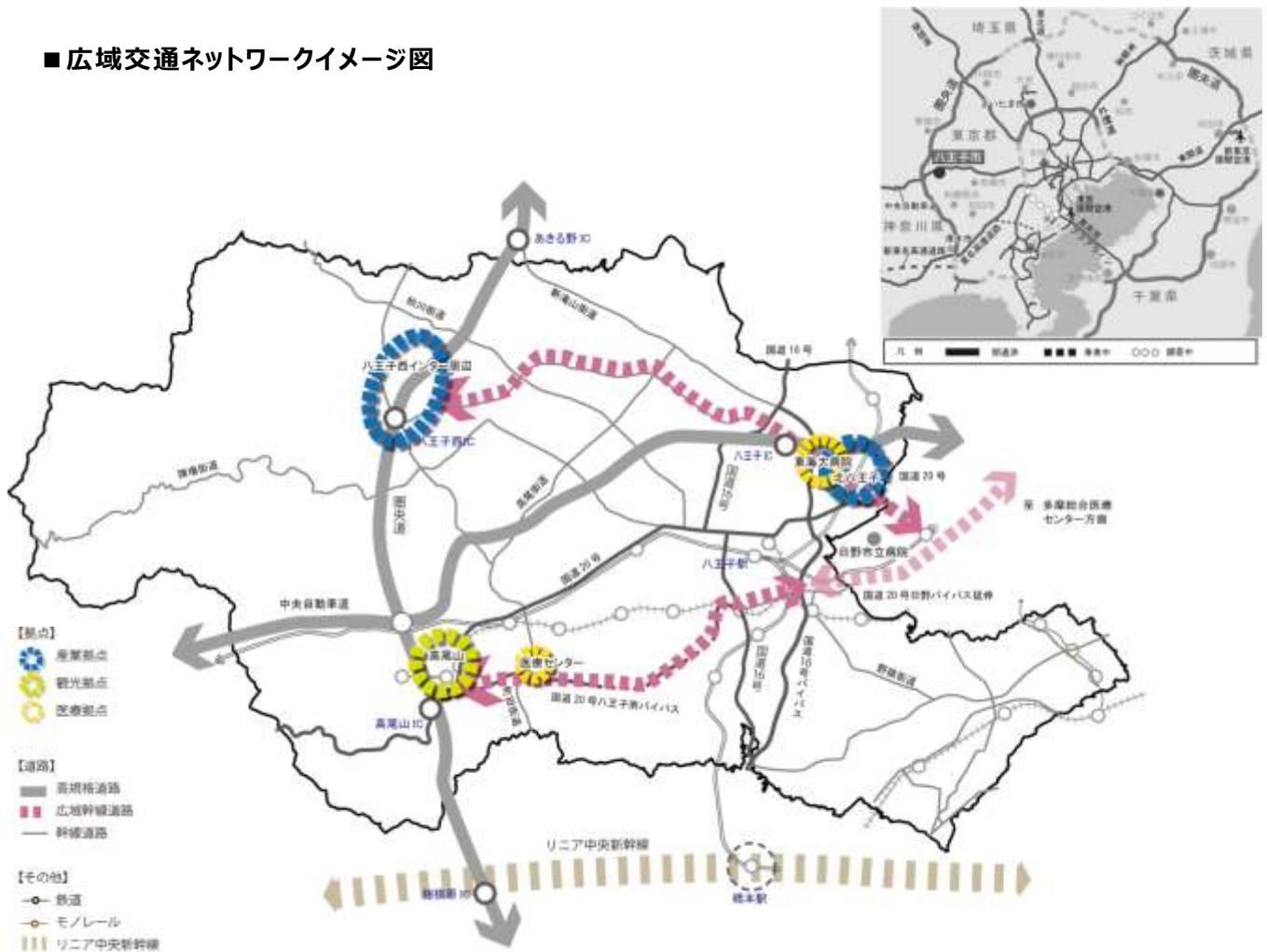
基本目標1

交通の要衝地の強みを活かし、地域全体の活性化に資する広域交通の強化

＜施策展開の考え方＞

- 広域的な交通利便性を活かした、防災・物流・医療ネットワークに資する広域道路網の充実
- 本市の活性化や魅力向上に資する、軌道系交通網の機能強化
- 本市の立地を活かした、リニア中央新幹線の整備を見据えた取り組みの推進

■ 広域交通ネットワークイメージ図



◆ 施策の実施時期について ◆

- ・本計画の計画期間（平成 27～36 年度の 10 年間）について、施策の実施時期を短期、中期、長期、継続に区分し施策展開のスケジュールを定めます。
- ・平成 36 年以降は、本計画の「評価・見直し」とあわせて新たなスケジュールを検討しますが、計画の進捗状況や社会情勢の変化などに応じて、中間年次において適宜見直しを行うものとします。
- ・短期、中期、長期、継続は各々以下の区分とします。
 - 短期：概ね 5 年後（平成 31 年度）までに着手または、完了を目指す施策
 - 中期：概ね 10 年後（平成 36 年度）までに着手または、完了を目指す施策
 - 長期：長期的視野に立ち、推進する施策
 - 継続：継続的に進める施策

○防災・物流・医療ネットワークに資する広域道路網の充実

取り組み方針

本市は、首都圏と甲信越地方を結ぶ中央自動車道や国道 20 号と、首都圏を環状に結ぶ首都圏中央連絡自動車道（圏央道）や国道 16 号が交わる交通の要衝地です。

これらの広域幹線道路のポテンシャルを活かす広域道路網の整備を進めることにより、災害時の輸送や流通の拠点機能の強化、高次医療施設への速達性向上、ハイパーレスキュー隊の迅速な展開支援など、防災・物流・医療ネットワークに資する広域道路網の充実に取り組みます。

取り組むべき施策

○北部・北西部地域における道路等の整備

施策 NO	施策名	概要（内容）	実施時期
1	圏央道八王子西 IC のフル機能化に向けた整備推進	中央自動車道方面への乗り降りしかできないハーフインターチェンジであった圏央道八王子西 IC のフル機能化に向け、（仮称）八王子西スマート IC の整備を進めます。	短期
2	北西部幹線道路の整備	北部地域と西部地域のまちづくりの骨格を形成するとともに、広域幹線道路ネットワークを形成し、行政間の連携強化や流通業務機能の強化、災害時の輸送道路等としての機能を担うため、八 3・3・74（左入美山線：北西部幹線道路）の事業推進に向け関係機関と調整を進めます。	短期 ～ 中期
3	八 3・4・28、八 3・4・40 の整備促進	中央自動車道八王子 IC と石川工業団地や日野方面を結ぶ道路ネットワークの強化とともに、歩行者、自転車の通行の安全確保、地域の防災機能や利便性の向上に資する都市計画道路八 3・4・28（石川宇津木線）及び接続する八 3・4・40（石川小宮線）について、関係機関と協力しながら、整備を促進します。	中期



八王子西スマート IC 整備イメージ



○ 西南部・東南部地域における道路等の整備

施策 NO	施策名	概要（内容）	実施時期
4	国道 20 号八王子南バイパスの整備促進	本市南部における、広域幹線道路となる国道 20 号八王子南バイパスの整備を促進します。	中期
5	北野街道、八 3・3・73 の整備	国道 20 号八王子南バイパス整備効果を活かし、災害時にも機能する道路ネットワークを強化するため、第 2 次緊急輸送路でもある北野街道（八 3・3・10～八 3・3・2）、八 3・3・73（小比企狭間線）の整備に向け関係機関と調整を進めます。	中期
6	八 3・4・8 の整備	多摩ニュータウンと八王子ニュータウンを結び、八王子南バイパスを介して圏央道につながり、ハイパーレスキュー隊の迅速な展開や八王子医療センターへの速達性向上に資することから、整備に向け関係機関と調整を進めます。	中期
7	国道 20 号日野バイパス延伸の整備促進	府中の多摩総合医療センターや小児総合医療センターにつながるるとともに、浅川を渡る新たな道路として防災機能の向上や国道 20 号の渋滞緩和に資することから、早期整備を関係機関に働きかけます。	中期 ～ 長期



○ 高規格道路の利便性向上

施策 NO	施策名	概要（内容）	実施時期
8	首都圏高速道路ネットワークの利便性向上の促進	首都圏三環状道路の整備を促進するとともに、環状道路が持つ機能が十分発揮できる料金体系の構築を図るなど、首都圏の高速道路ネットワークの利便性向上に向け関係機関へ働きかけます。	短期 ～ 中期

○軌道系交通網の機能強化

取り組み方針

本市の軌道系交通であるJR中央線、横浜線、八高線の輸送力を強化するとともに、本市随一のターミナル駅で約16万人/日以上乗降客を有するJR八王子駅の利便性を高め中心市街地の活性化や魅力向上に資する取り組みを進めます。

また、JR八王子駅周辺においては旭町・明神町地区周辺のまちづくり等が進められ、産業交流拠点なども計画されていることから、既存鉄道線を活用した空港へのアクセス向上策など、まちづくりの効果が発揮できる軌道系交通網の機能強化についても研究を進めます。

取り組むべき施策

○鉄道輸送力の強化

施策NO	施策名	概要（内容）	実施時期
9	JR八高線の複線化促進	輸送力の強化や沿線地域の連携に資するJR八高線八王子～高麗川間の複線化を、関係市町村と協力して、関係機関へ働きかけます。	長期
10	JR中央線の輸送力強化促進	輸送力の強化や速達性の向上に資するJR中央線の複々線化を、関係市町村と協力して、関係機関へ働きかけます。	長期

○鉄道駅の利便性向上

施策NO	施策名	概要（内容）	実施時期
11	JR八王子駅の利便性向上	JR中央線・横浜線・八高線が乗り入れる八王子駅において、乗り換えのしやすさなどの利便性や、安全性が向上するよう関係機関と調整を進めます。	長期
12	JR中央線の立体交差化促進	JR中央線による市街地の分断や道路の渋滞解消に向けて、鉄道との立体交差について、関係団体などと協力して、関係機関へ働きかけます。	長期



○リニア中央新幹線の整備を見据えた取り組み

取り組み方針

リニア中央新幹線駅の建設が、本市南部に近接する JR 横浜線橋本駅周辺で予定されています。このリニア中央新幹線の開通により、首都圏と中京・関西方面を結ぶ人・モノ・情報の流れが大きく変わることが予想されます。

本市においても多摩ニュータウンや八王子ニュータウンからの交通利便性が向上し、JR 八王子駅周辺の旭町・明神町地区に予定されている産業交流拠点への交流人口が増大するなど、新たな交通需要が見込まれるため、リニア中央新幹線駅への交通アクセスの向上が望まれています。

そのため、今後予定されている国道 16 号バイパスの無料化の促進をはじめとした、リニア中央新幹線の整備効果を活かせる取り組みを、隣接自治体などとも協力して進めます。

取り組むべき施策

○リニア中央新幹線の整備効果を活かす取り組み強化

施策 NO	施策名	概要（内容）	実施時期
13	国道 16 号八王子バイパスの無料化促進	広域道路網の強化や利便性向上、中心市街地を通る通過交通の転換に資する国道 16 号八王子バイパスの早期無料化に向け、関係機関へ働きかけます。	短期
14	国道 16 号の機能強化	リニア中央新幹線の新駅と中心市街地の連携を強化し、速達性や利便性の向上を図るため、国道 16 号子安坂上～都県境の整備に向け、関係機関へ働きかけます。	長期

